

琵琶湖博物館グランドオープン等について

1 グランドオープンについて

来年度、第3期リニューアルの工事を完了し、7月11日(土)、A展示室・B展示室をオープンする。(内覧会およびオープニングセレモニーを実施予定)

(1) リニューアルの概要

	第1期	第2期	第3期
全体事業規模 約29億円	約15.1億円	約6.4億円	約7.5億円
リニューアル 内容	・C展示室 ・水族展示室	・交流空間 (おとなのディスカバリー、ディスカバリールーム、レストラン、ショップ、樹冠トレイル、旧UNEP施設)	・A展示室 ・B展示室
平成24年度	「新琵琶湖博物館創造ビジョン」の策定		
平成25年度	「新琵琶湖博物館創造基本計画」の策定		
平成26年度	設 計		
平成27年度	施 工		
平成28年度	施工・オープン(7/14)	設 計	
平成29年度		施工・オープン(3/24)	
平成30年度		施工・オープン (4/2、7/6、11/3)	設 計
令和元年度			施 工
令和2年度			施工・オープン(7/11)

(2) これまでの成果

常設展示の再構築

- 体験・体感型展示の取り入れ
- 収集した実物資料の活用

来館者数の増加

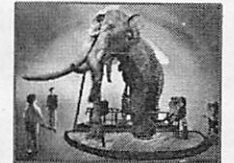
交流空間の再構築

- 団体向けの昼食・休憩スペースの整備
- 子供と大人と一緒に楽しむ空間の整備
- 大人が楽しむ知的空間の整備
- 琵琶湖へ誘う屋外交流空間の整備

(3) 第3期リニューアル

①A展示室 湖の400万年と私たち ～変わる大地・気候・生き物～

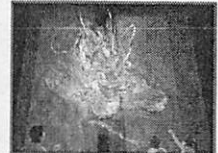
過去の様々な環境変化の結果としての現在と、現在が未来への途中にあることを認識することにより、地域の環境を考えるきっかけとなることを目指す。



〈コウガゾウ半骨半身標本〉

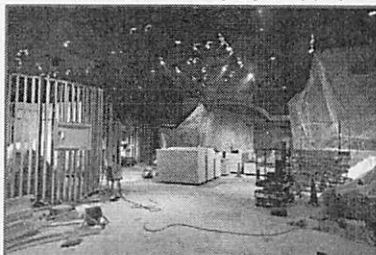
②B展示室 湖の2万年と私たち ～自然と暮らしの歴史～

自然環境と私たちの暮らしの歴史を振り返ることにより、地域の環境と自治を考えるきっかけとなることを目指す。

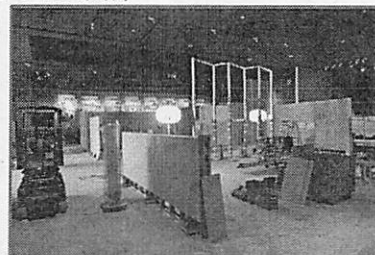


〈龍のオブジェ〉

(参考) A・B展示室の現状 (令和2年3月2日時点)



〈A展示室〉



〈B展示室〉

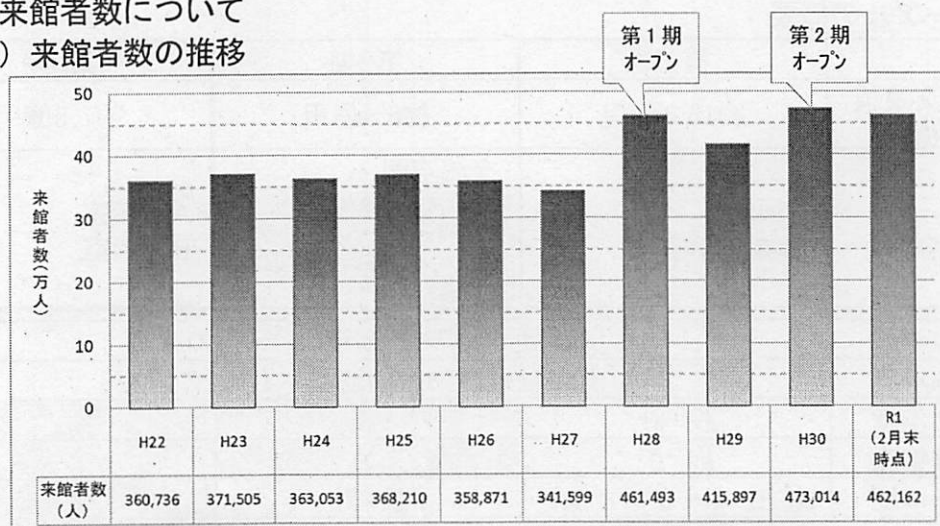
(4) 観覧料金の改定 (常設展示)

	個人	団体 (20人以上)
大人	800円 (リニューアル前 750円)	640円 (リニューアル前 600円)
高校生・大学生	450円 (リニューアル前 400円)	360円 (リニューアル前 320円)

〔算出式(大人個人の場合)〕 リニューアル前 750円 × 改定率 1.05 × 消費税(110/105)

2 来館者数について

(1) 来館者数の推移



(2) 今年度の来館者数の状況等

平成 28 年度の第 1 期リニューアルオープン以降、来館者数は 40 万人台を回復しているが、今年度は、第 2 期リニューアルの効果、県内および京阪神に向けたインターネット広告・SNSによるWEBプロモーションや夏季におけるテレビ番組、CM等による集中広報の実施等により、リニューアルの途上であるものの、対前年度比 6.9%の来館者増 (2月末現在) となっている。

- ・夏休み (7/20~9/1) 115,924 人 (H30 : 107,447 人、7.9%増)
- ・A展示室・B展示室 close 企画(展示のひみつマップ配布、見納めツアー他)
9/14~11/24 の来館者 116,770 人 (H30 : 107,777 人、8.3%増)
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため休館中 (2/28~3/16)

3 今後の取組について

(1) 来年度の広報事業の展開

グランドオープンを契機として、「すべての世代が楽しめる」「みんなで研究する」「活動に参加できる」といった博物館の魅力や、県民が参加できる国際シンポジウム等の開催や様々な広報媒体を通じて県内外に発信することにより、生まれ変わった博物館の価値を一層高め、誰もが利用しやすい環境づくりを目指していく。

- ・博物館の研究・活動を発信する番組の制作と放送
- ・博物館利用の情報を SNS 等で発信
- ・学校、団体等に向けた、環境学習の場としての価値の広報
- ・琵琶湖・滋賀の価値を広く知らせる国際シンポジウム開催

(2) 中長期的な取組の方向性

今後は、リニューアルも含めこれまで積み上げてきた成果を活かし、「湖 (自然) と人間の共存について皆で考える」という方向に沿って、具体的な事業目標を再設定し、博物館がより一層発展・成長していくことが求められている。

そのため、行動指針となる新たな中長期計画を令和 2 年度に策定する。